



〔メモ〕

【日時】平成31年2月11日(月) 9:30～14:30頃

【場所】網張VC周辺

【参加者総数】 14名
 パークボランティア 13名
 環境省AR 1名

〈講師〉 広野PV、佐々木(和)PV

- 【概況】 (文責：阿部)
- ・ 時折小雪が舞い散る曇天だったが風は無く雪洞づくり等には絶好の気象条件だった。
 - ・ 今回は広野講師および佐々木講師の指導でイグルー型かまくらと雪洞、及び雪のテーブルベンチづくりを皆で体験した。
 - ・ 参加者一同、久しぶりのかまくらや雪洞づくりに熱中し、貴重な体験となった。
 - ・ 完成した雪洞等は意外に暖かいことを実感。
 - ・ 講師の広野氏は完成した雪洞に単独泊した。雪洞内の気温は明け方で-0.3℃だった由。

〈今回参加PV〉 13名 (敬称略、順不同)
 広野、佐々木(和)、米田、家子、今宮
 原(勝)、原(由)、浪岡、伊藤、福山
 佐々木(貴)、細川、阿部
 〈写真提供〉 浪岡pv

【イグルー型かまくら づくり】 (雪が少ない時の雪洞)



雪の踏み固め 少し時間を置くと雪が固まりブロックを作れる



イグルー型かまくらの内径を決める (今回は約2m)



雪のブロック切り出し (踏み固めた雪)



ブロック積み



基礎部に雪のブロックを積み



内側に雪を詰め踏み固める





天部は丸みをつけて仕上げる



かまぐらへの入口を掘る



内部の掘削と雪出し



(撮影：浪岡)



(撮影：浪岡)



かまぐら内に9名が入れた



完成したイグルー型かまぐら前に全員集合

【イグルーづくりのための雪ブロック積】



イグルーづくりは雪ブロックの整形が大事・・・ブロックにテーパを付け、接合部を平滑に仕上げる

【雪のテーブルベンチ づくり】

予め予定範囲を踏み固め、足置部を掘り下げる。



仕上がったテーブルベンチで昼食

【雪洞づくり】



(撮影：浪岡)



両側から掘り進めて貫通



作業口の閉塞

(撮影：浪岡)

※今回は斜面に平行する約2mの雪洞
両端に開口部をつけ横に掘り進めた。
掘削完了後に片方の口（作業口）を
雪ブロックで閉塞した。

利点としては早く完成できることと、
非常時に退出口を2か所確保出来ること。



(撮影：浪岡)



完成した雪洞で記念に1枚
雪洞掘りの際に作ったもう一つの開口部（作業口）は左側集団の
背後にあり、雪ブロック等で簡単に閉塞した。
※広野講師(PV)は、その夜、この雪洞に一泊した由。



事前に講師から説明を受ける



終了後のミーティング 講師の講評と参加者各人の感想発表

【参考】 広野講師作成の資料
 (参加者全員に配布)

雪洞づくり研修

2019.2.11 網張
 岩手山PV

1. 地形、積雪、雪質の確認
 (ソノテ棒、スコップ)
2. 大きさ(サイズ)、形を決める。
 (人数、時間) 位置、風向き。
- 3-1 たっぷり雪がある(吹溜まり)
 → 雪洞型
- 3-2 雪が少ないとき
 → イグルー型(かまくら)

3-1. 雪洞 (-人用)

山さ目の方が暖かい。

平面

立面

3-2 イグルー型(かまくら) (2~3人用)

平面

立面

★ ふゆゆいの雪でも踏み固めると、15~20分後にはブロックとして切り出せる。→ ブロックを取れば何でもつくれる。

- 壁(風除け)
- テーブル
- すべり台
-
-